

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	播磨町		地区名	JR土山駅周辺地区			面積	80.0ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年6月～12月		交付対象事業費	205百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 道路/町道古宮土山線・町道大沢中線 公園/はりまガーデンプラザ 地域生活基盤施設/土山駅南線(自歩道)・土山駅南駐輪場 高質空間形成施設/緑道であいのみち改修及びふるさと橋改修・喜瀬川ふるさとの川整備										
	基幹事業		道路/町道古宮土山線・町道大沢中線 公園/はりまガーデンプラザ 地域生活基盤施設/土山駅南線(自歩道)・土山駅南駐輪場 高質空間形成施設/緑道であいのみち改修及びふるさと橋改修・喜瀬川ふるさとの川整備										
	提案事業		地域創造支援事業/河川美化活動 まちづくり活動推進事業/古代体験教室・コミュニティ花壇づくり										
	当初計画から削除した事業		事業名 高次都市施設/はりま複合交流センター 地域生活基盤施設/緑の駐車場 高質空間形成施設/ため池環境整備(ソウブチ池、狐狸ヶ池)			削除/追加の理由 はりま複合交流センター及び緑の駐車場は、整備計画や事業手法の検討・調整等により、交付期間外に整備を延期。ソウブチ池の環境整備については、町の整備方針の見直しを受けて整備することが望ましいため、交付期間内での整備を見合わせ。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 「イベント開催数」の目標値は、当該施設でのイベント開催を想定して目標値を設定していた。施設整備時期が延期されたため、平成21年3月計画変更時に目標値を1回/年下方修正した。				
	新たに追加した事業		提案事業 地域創造支援事業/行政サービスコーナー			行政サービスコーナー(はりま複合交流センター内に整備予定)は、はりま複合交流センターの整備延期に伴い、交付期間外に整備を延期。			影響なし。				
	交付期間の変更		当初 変更		平成17年度～平成21年度 なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅の乗降客数(非定期)	千人/年	2,448	H14	2,600	H21	2,660	2,737	○	あり なし	主に土山駅南線・南駐輪場や、大中遺跡周辺・県立考古博物館の整備が、駅の乗降客数の増加に影響している可能性がある。	平成22年6月
	指標2	遺跡周辺入込み客数	千人/年	100	H15	150	H21	229	325	○	あり なし	大中遺跡周辺・県立考古博物館整備や、古代体験教室の実施等が遺跡周辺入込み客数の増加につながった可能性が高い。	平成22年6月
	指標3	緑道利用者数	人/日	1,440	H14	1,730	H21	2,215	2,432	○	あり なし	であいのみちの改修に加え、土山駅南駐輪場や大中遺跡周辺・県立考古博物館が整備されたことが、緑道利用者数の増加につながった可能性が高い。	平成22年11月
	指標4	イベント開催数	回/年	3	H15	5	H21	5	4	△	あり なし	大中遺跡周辺・県立考古博物館や喜瀬川の整備等がきっかけとなり、イベント開催の増加につながった。	平成23年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	ボランティア活動団体数	団体/年	1	H15			—	17			コミュニティ花壇づくり、ふるさとの川整備事業、大中遺跡公園や県立考古博物館の整備等がきっかけとなり、ボランティア活動団体数の増加につながった。	平成23年4月
	その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4) 定性的な効果発現状況	施設が整備されたことが契機となり、施設運営ボランティア活動(考古博物館)や、河川美化活動(喜瀬川)が、活性化した。また、本地区で実施した住民参加によるコミュニティ花壇づくりや河川美化活動が、他地域にも広がり、町民の環境意識・まちづくり意識の向上にもつながった。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	関係機関からデータ入手、実測等によるモニタリングを実施。モニタリング原案は町ホームページを通して公表・意見収集を行い、有識者からも意見を徴収。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 整備を延期した事業の効果を検証するため、今後も、当該事業に関連する数値指標の推移を確認していく。				
	住民参加プロセス	住民ボランティアの参加による古代体験教室の企画運営			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後も住民ボランティアの意見を踏まえたり、協力を得ながらイベントの開催や施設運営を進めていく。また、これらの取り組みを広く情報発信し、住民ボランティアの増加につなげていく。				
持続的なまちづくり体制の構築	住民ボランティアからなる緑化活動団体			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 緑化活動団体の育成及び活動の活性化を図るため、補助制度を継続していく。					